

直流安定化電源装置 SAS-02A

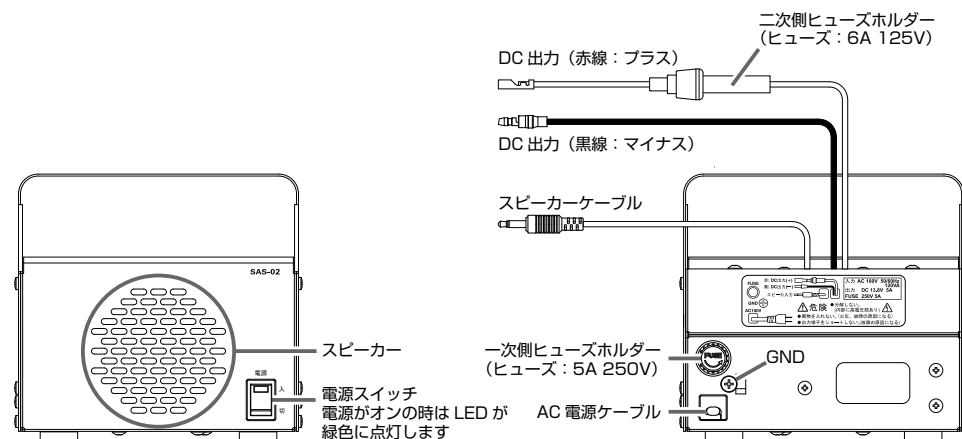
SAS-02A は、当社の車載型無線機※を AC100V を電源として卓上運用ができる高音質大音量スピーカーを内蔵した直流安定化電源装置です。

※ SRNX100、SRM420 シリーズ、SRM620 シリーズ、SRM320、FTM320R

構成

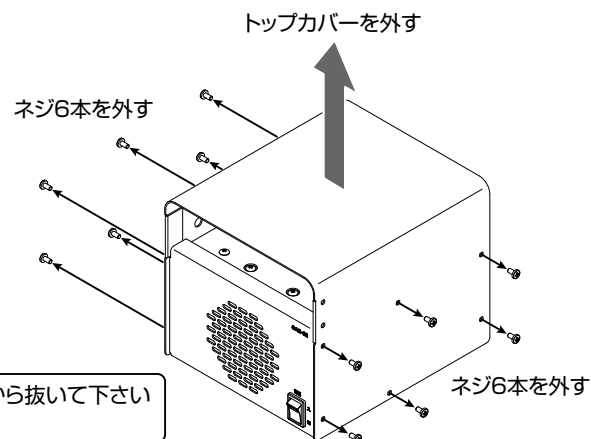
SAS-02A 本体	1	マイクハンガー固定ネジ (M3×5)	2
マイクハンガー	1	取扱説明書 (本書)	1
車載用ブラケット固定ネジ (M5×10)	4		

各部の名称と働き

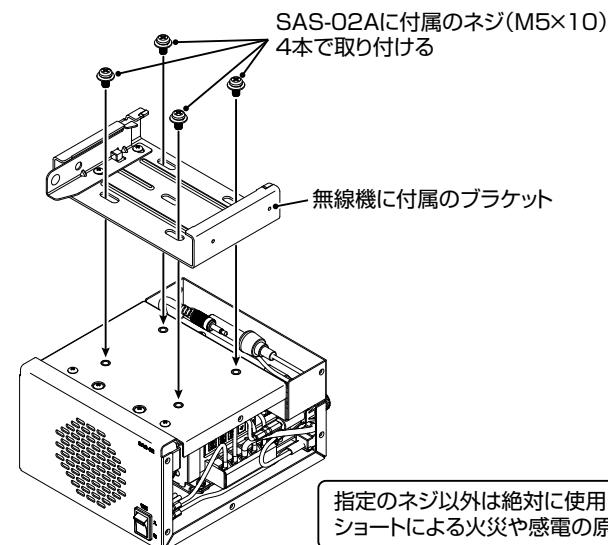


無線機の取り付け

1. 側面のネジ (12 本) を外してトップカバーを外します

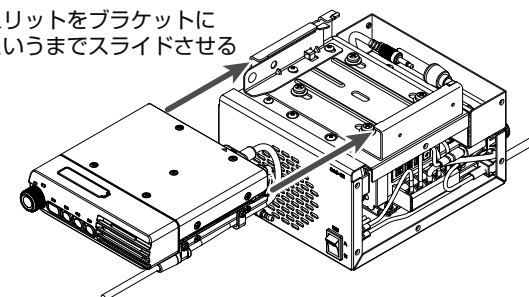


2. ブラケットをネジ (4 本) で取り付けます



3. 無線機をブラケットに取り付けます

無線機の両側のスリットをブラケットにあわせてカチッというまでスライドさせる



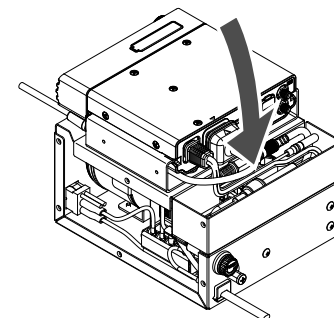
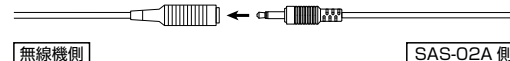
4. DC 電源ケーブル、スピーカーケーブルを接続します

① 電源ケーブルの“黒線”同士、“赤線”同士を接続する



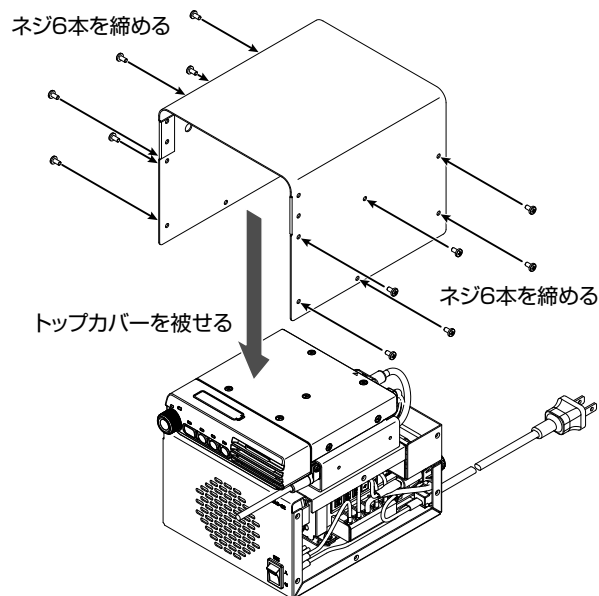
接続したケーブルはこのボックスに収納します

② スピーカーケーブルを接続する



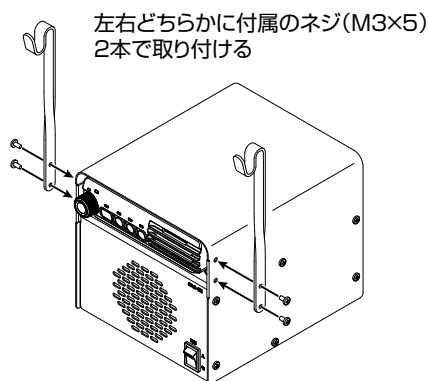
EBE01X000 (2405S-AS)

5. トップカバーを取り付ける



マイクハンガーの取り付け

左右どちらでも使いやすい側に取り付けることができます。

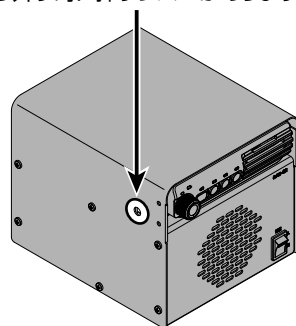


指定のネジ以外は絶対に使用しないでください
ショートによる火災や感電の原因になります

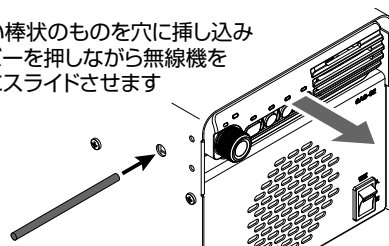
無線機を取り外す

電源スイッチをオフにしてから、図を参照して無線機を取り外します。

左側面の穴の中に無線機を
取り外す時に押すレバーがあります



細い棒状のものを穴に挿し込み
レバーを押しながら無線機を
前にスライドさせます



定格

入力: AC100V、50/60Hz、120VA
出力: DC13.8V ± 5%、5A
使用温度範囲: 0℃ ~ +40℃
本体寸法: 142 × 130 × 166mm (幅×高さ×奥行き) (マイクハンガーおよび突起物を含まず)
重さ: 約 2.1kg (無線機およびブラケットを含まず)
ヒューズ: 一次側 5A 250V、二次側 6A 125V

取り扱い上のご注意

- 当社の無線機以外は接続しないでください。
- 本製品には、一次側 (AC 入力) と二次側 (DC 出力) にヒューズを設けています。それぞれの規定電流以外のヒューズは絶対に使用しないでください。規定電流以外のヒューズを使用すると、保護機能が正常に働かず、無線機および本製品の故障の原因になります。
- 一次側のヒューズが切れた場合は、本製品の異常、二次側のヒューズが切れた場合は、無線機の異常が考えられます。ヒューズが切れた場合は、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
- この電源を用途以外で使用された場合に発生した故障・事故は、一切の責任を負いかねます。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください

- 危険** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
- 警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- 危険** “煙が出ている”、“変な臭いがする”などの異常状態のまま使用すると、火災や故障の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙や変な臭いなどが出なくなったことを確認のうえ、お買い上げいただきました販売店に修理をご依頼ください。
- 警告** 分解や改造をしない。感電や故障の原因になります。指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。それ以外の電源電圧で使用すると、火災や故障の原因になります。また、小型発電機等の AC100V では、本機のパフォーマンスを十分に発揮できませんので使用しないでください。
- 注意** 無線機の接続は電源ケーブルの色に注意して、極性を間違えないように正しく接続してください。電源ケーブルの極性を間違えると、内部回路が破損し、火災や感電の原因となります。濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。ケーブルに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
- 行ってはならない禁止事項です (例 分解禁止)。
- 必ず守っていただきたい注意事項です
- 電源ケーブルの上に重いものを載せたり、電源ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが傷つき、火災や故障の原因になります。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。万一、内部に水や金属片などが入った場合には、すぐに電源スイッチを切り、同時に電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
- 熱器具の近くに設置しないでください。ケーブルの皮膜が損傷し、火災や感電の原因となることがあります。湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。油や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

八重洲無線株式会社